くろがね

ユニットデスク
UD-CGU16型
組立説明書

☆くろがね学習机をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、「取扱説明書」と「組立説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。
☆お読みになった後は、必ず大切に保存し、必要な時にお読みください。

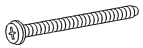
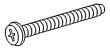
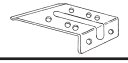
お願い
ご使用の際は、保護者の方が「取扱説明書」と「組立説明書」を、よくお読みの上、お子様にご説明ください。

目　次

■付属部品セット
■各部の名称
■選べるスタイル
■デスクの組立
【1】本体の組み立てかた
【2】書棚(上棚と下棚)の組み立て
2-1下棚と上棚の組み立て
2-2移動式ブックエンドの取り付けかた
2-3自在棚の高さ調節のしかた
【3】「本体」と「書棚」の連結のしかた
【4】灯具の取り付けかた
●アームライトの取り付けかた
●T型ライトの取り付けかた
【5】コンセントユニットの取り付けかた
【6】キャビネットの組み立て
【7】デコレーションシール

■付属部品セット

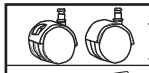
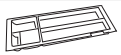
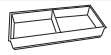
[本体用部品]

	組立ネジ(M6×80) 組立ネジ(M6×60)	4本 2本		組立ネジ(M6×50)	4本
	跳ね上げ式フック フエルト	1個 1枚		丸ナット	4個
	取付ネジ(M6×15) (フック･連結金具取付用)	4本		フック	1個
	ユリヤネジ (φ20×M6×15)	2本		連結金具 (本体-下棚連結用)	1個

[書棚用部品]

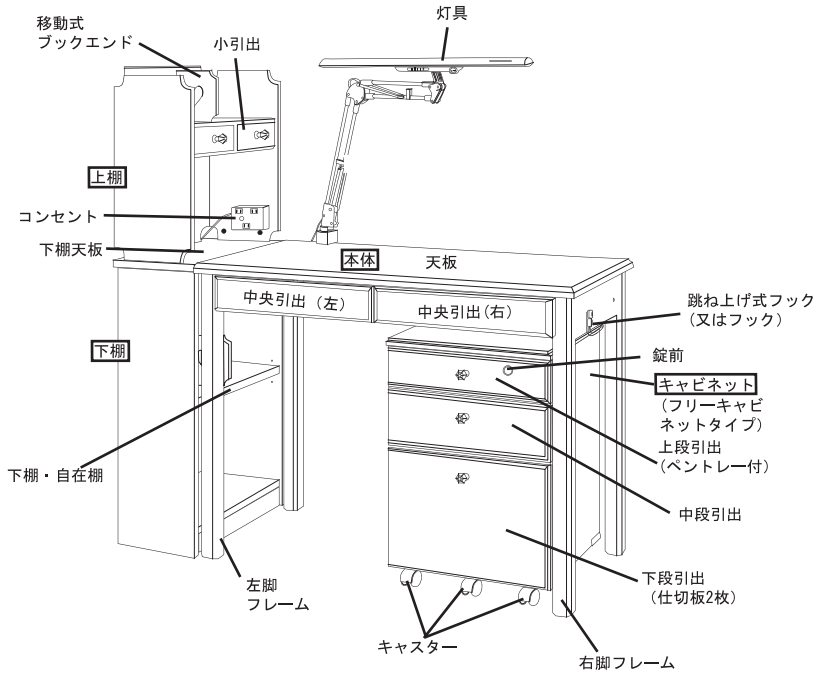
	連結金具(上棚･下棚連結用)	4個		連結ボルト(上棚･下棚連結用)	4本
	デコレーションシール	1枚		棚受けタボ (ねじ込みタイプ)	4本

[キャビネット用部品] ●上段引出の「引き手」と「取付ネジ」、錠前用キーはペントレーに入っています。
●(※)整理トレーは一部の商品には付いていません。

	キャスター ストッパー付(2個)ストッパー無し(3個)	1組		キー 2本1組	1組
	ペントレー	1個		(※) 整理トレー	3個

■各部の名称

※この図は各部の名称の説明図として画いています。お買い求めの製品とは仕様が異なる場合があります。

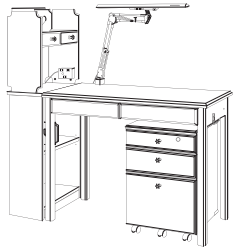


■選べるスタイル

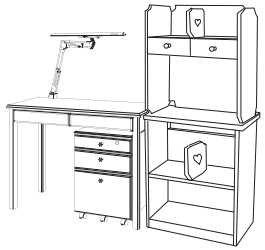
※コンポーネントデスクは机と書棚の組み合わせ方法により「ユニットスタイル」「セパレートスタイル」のご使用方法が出来ます。お好みの組み合わせでご使用ください。

⚠ 注意	組み換え等、机を移動させる場合は、机の上・書棚に物の無い状態で灯具・コンセントは取り外し、必ず2人以上の人数で行ってください。 机の移動は、引きずらないで必ず持ち上げて運んでください。 引きずったり、横方向に引っ張りますと床を傷つけたり、破損の原因となります。

ユニットスタイル



セパレートスタイル



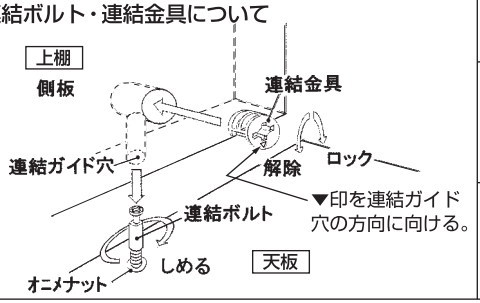
※この図は組み合わせスタイルの説明図として画いています。お買い求めの製品とは仕様が異なる場合があります。

⚠ 警告	書棚は必ず壁や柱に沿わせて水平な床面上に設置してください。 連結金具で本体と連結してご使用ください。(転倒によるケガ、破損の原因)

■デスクの組み立て

机・書棚の組み立てかた　　[共通項目]

◎連結ボルト・連結金具について



⚠ 注意

●連結ボルトは確実に締め付け、連結金具は確実にロックする。（締め付け･ロックが確実でないと、ケガ･破損の原因）　確実に締め付けロックする

●組み立てネジは確実に締め付ける。（締め付けが確実でないと、ケガ･破損の原因）　確実に締め付ける

【1】本体の組み立てかた

本体を組み立てる際、図のように「背板」を下に床面に寝かせた状態で組み立ててください。

(1)「脚フレーム」と「背板」を組み立て

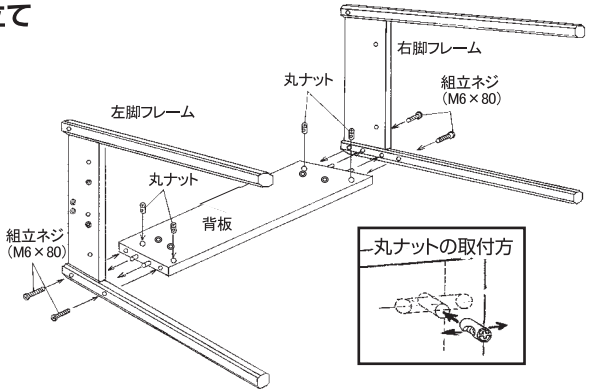
①片側の「脚フレーム」下側のガイド穴に「背板」の木ダボを差し込みます。

②「背板」の前方より「丸ナット」を差し込み、「脚フレーム」外側より組立ネジ(M6×80)2本使って連結します。

注意　背板は連結用丸ナット取付穴があいている側を前になるように取り付けます。

③もう一方の「脚フレーム」のガイド穴に「背板」の木ダボを差し込み②と同様に丸ナットと組立ネジ(M6×80)2本で「脚フレーム」と「背板」を連結します。

注意　丸ナットのネジ側が脚フレームの方向に向いているかを確認ください。

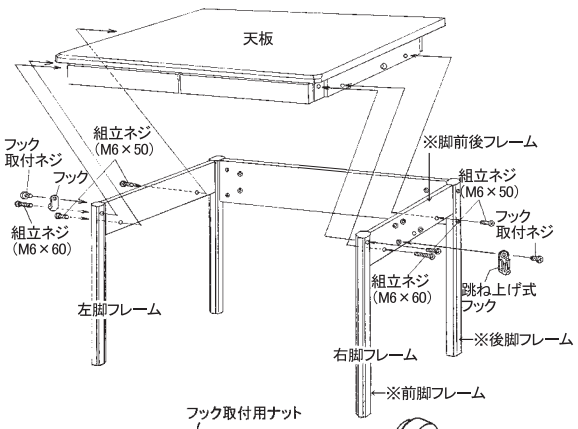


(2)「天板」を取り付けます

①組み立てた「脚フレーム」を起こします。

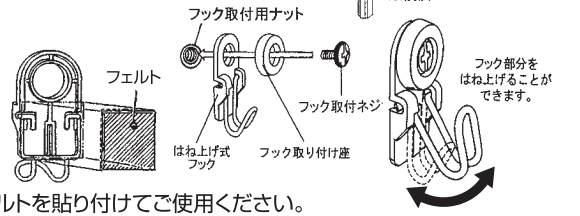
②「天板」を上方より左右の「脚フレーム」の間に「天板」左右の「桟」を差し込むように取り付け、左右各3箇所を組立ネジ(M6×50)4本と(M6×60)2本で締め付けます。

注意　脚前後フレームの箇所に(M6×50)前脚フレームの箇所に(M6×60)を使用します。



[跳ね上げ式フックの取付方]

(※)フックは「跳ね上げ式フック」と「フック」が各1個付いています。
フック取付用ナットに、キャップを外し、フック取付ネジで取り付けてご使用ください。



●「跳ね上げ式フック」は裏面下部に付属のフェルトを貼り付けてご使用ください。

【2】書棚(上棚と下棚)の組み立て

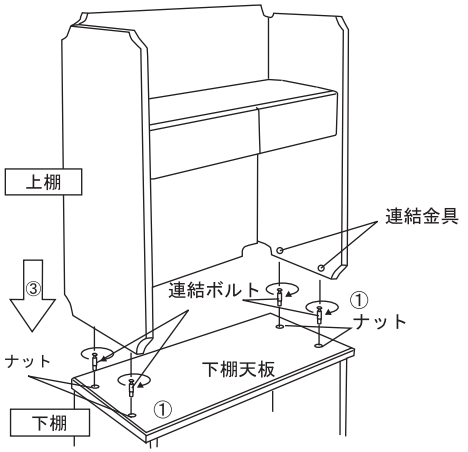
2−1下棚と上棚の組み立て

①「下棚」の天板上4箇所のナットにキャップを外し連結ボルトを取り付けます。

②「上棚」の側板内面左右各2箇所に連結金具の▲印を連結ガイド穴の方向に合わせ、取り付けます。

③「下棚」の天板に取り付けた連結ボルトを「上棚」の連結ガイド穴に合わせて、「上棚」を取り付け、連結金具を回して締め付けます。

[注意]　取り付けは左右が水平になる様、左右同時に取り付けます。



2−2 移動式ブックエンドの取り付けかた

[取り付けかた]

①移動式ブックエンドのアダプターを取り付けられる「棚板」と「背板」の隙間に「棚板」の上方より差し込みます。

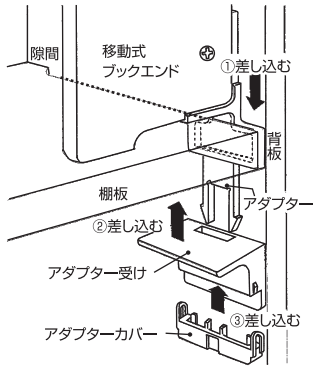
②棚板の下に突き出たアダプターの先端に「アダプター受け」をカチッと音がするまで差し込みます。

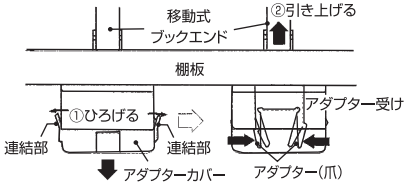
③「アダプター受け」の下方より「アダプターカバー」をカチッと音がするまで差し込みます。

[取り外しかた]

①「アダプターカバー」の両側面の連結部を少し広げるようにして「アダプター受け」より外します。

②ブックエンドを上方に引き上げながら「アダプター受け」より突き出ています「アダプター」の先端爪部を内側に寄せて外します。

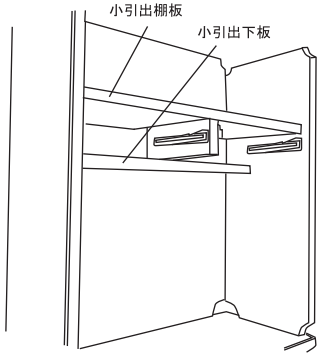




●移動式ブックエンドの取付場所について

移動式ブックエンドは、上棚の「小引出棚板」の上方、「小引出下板」の下方、また下棚の自在棚に取付できます。

小引出棚板に取り付ける場合は、あらかじめ小引出を引き抜いてから行なってください。



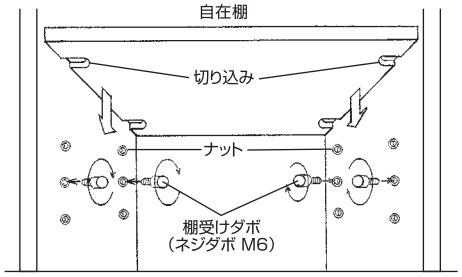
2−3自在棚の高さ調節のしかた

●取り外しかた

自在棚を上方に持ち上げて外します。

●取り付けかた

ご希望の高さに棚受けダボを左右同じ高さの位置に取り付け、上方より棚板の切り込みを合わせてのせます。



【3】「本体」と「書棚」の連結のしかた

ユニットスタイルでご使用の場合、必ず連結金具で本体と下棚を連結してご使用ください。

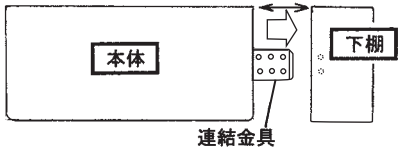
※書棚は外向き、内向きどちらでも連結できます。お好みの方向に連結して下さい。

●ユニットスタイル・アレンジスタイルの場合

①書棚と接する側の脚フレームの連結金具取付用ナットに、キャップを外し、付属の取付ネジ(M6×15)2本で連結金具を取り付けます。

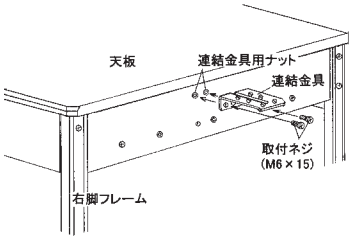
②天板後面と下棚天板の側面位置を合わせて下棚に差し込み、付属のユリヤネジで連結金具の下より連結します。

●下棚天板の側面と本体天板の後面を揃えて合わせる



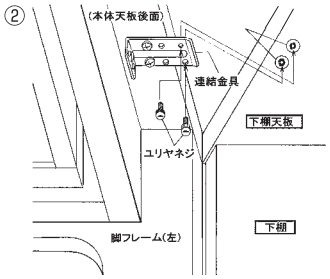
[ユニットスタイル]

①



[下棚の連結]

②



⚠ 注意　連結金具を連結した状態で移動はしない。(破損・ケガの原因)

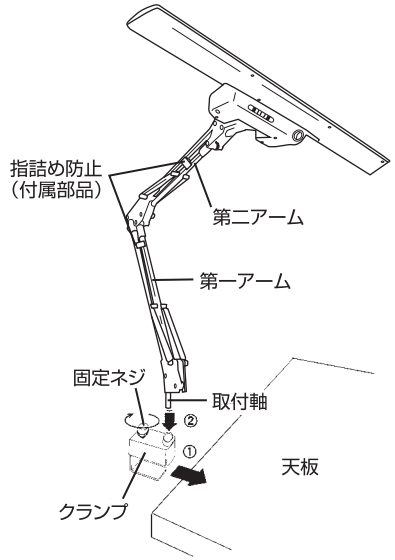
【4】灯具の取り付けかた

●アームライトの取り付けかた

①「本体」の天板後部に「クランプ(灯具セット付属部品)」の金具を奥まで一杯差し込み固定ネジを回してしっかりと取り付けます。

②灯具の第一アーム下端の取付軸をクランプの上方より差し込みます。

以上で「本体」に灯具の取り付けは完了です。
電源プラグを「コンセントユニット」の「照明器具専用コンセント」又はご家庭のコンセントに接続してください。



●T型ライトの取り付けかた

(※クランプの取付可能厚さは15mm〜40mmまで。)

①「本体」の天板後中央部に「クランプ(灯具セット付属部品)」をしっかりと取り付けます。

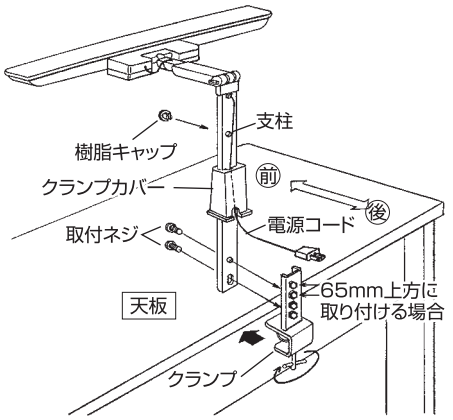
②クランプカバーに電源コードを通して支柱にはめ込みます。

③クランプカバーを支柱の「固定用の孔」上方に移動させ「クランプ」に前方より取付ネジ2本でしっかりと固定します。

※灯具の取付高さは65mm調節できます。お好みの高さで固定してください。

④クランプカバーをクランプが隠れるよう下方向きに移動させます。

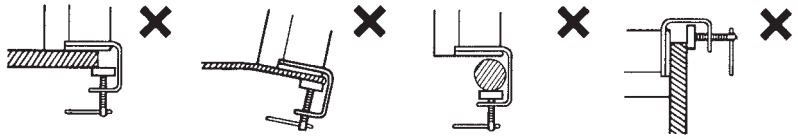
⑤樹脂キャップ(灯具セット付属部品)を支柱の孔に止めます。



以上で「本体」に灯具の取り付けは完了です。電源プラグを「コンセントユニット」の「照明器具専用コンセント」又は家庭のコンセントに接続してください。

取付場所のご注意

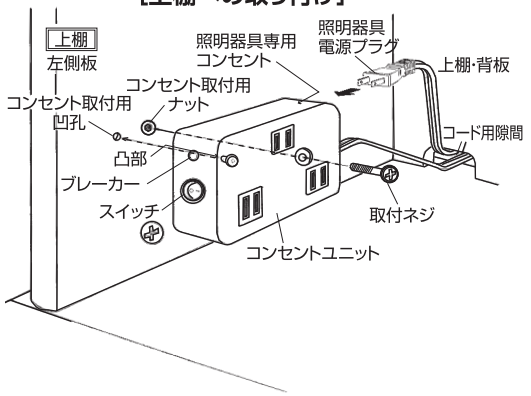
●次のような不安定なところには取り付けないでください。



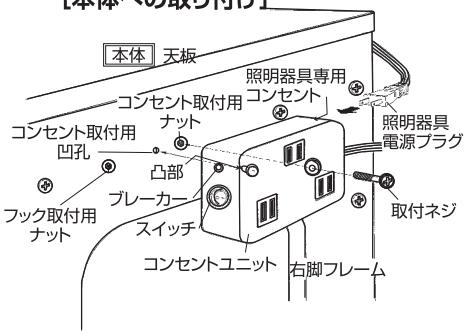
【5】コンセントユニットの取り付けかた

コンセントユニット（CU-31）は「上棚」の左右側板内面と「本体」の左右脚フレーム外側に取り付けができます。
ご使用の「スタイル」で使い易い位置に取り付けてください。
本体へのコンセント取り付け時はコンセント取り付け用ナットのキャップを外してから行って下さい。
①「上棚」側板内面及び「本体」脚フレーム外側のコンセント取り付け用の凹孔にコンセント背面から突き出ている凸部を差し込み、外側より取付ネジ(灯具セット付属部品)で取り付けます。
②照明器具から出ている電源コードをコンセントユニット後部の「照明器具専用コンセント」に確実に差し込みます。
③コンセントユニットの電源コードを家庭のAC100Vのコンセントに接続します。

［上棚への取り付け］



［本体への取り付け］

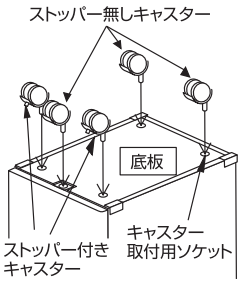


【6】キャビネットの組み立て

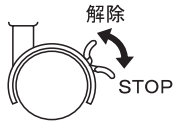
キャスターの取り付けかた

●キャビネット裏面にキャスターがカチッと音がするまで差し込みます。
※ストッパー付きキャスターは手前の角2ヶ所（前輪）に取り付けます。
●キャビネットを定位置で使用する場合はストッパーをかけて使用してください。

⚠ 注意	移動させる場合は、必ずストッパーを解除してから移動させてください。 （床面に傷をつける原因）



［ストッパーの操作］



【7】デコレーションシール

●付属部品として「デコレーションシール」がついています。お好みの位置に取り付けてご使用ください。

［注意］ デコレ-ションシ-ルは-度貼り付けた後、剥がしますと再度貼り付けができません。

くろがね 取扱説明書（保証書付）

この注意事項は、危害や損害を未然に防ぎ、学習机を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示は無視して、誤った取扱をすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、傷害を負う危険が想定される場合及び、物的損害の発生が想定される内容を示します。

［絵表示］

⃠	この記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示します。	❗	この記号は必ず実行してほしい行為及び注意点を示します。

正しい使いかた

[1]引出の抜きかた・入れかた

(1)三段引レール

■抜きかた

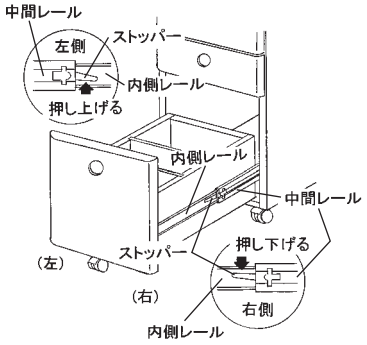
①引出を手前いっぱいまで引き出します。

②右側のストッパーを下方向に押し下げ、左側のストッパーを上方向に押し上げながら引出を更に引き抜くと中間レールから外れます。

■入れかた

①中間レールを手前まで引き出し、内側レールを左右同時に中間レールに差し込みます。

②引出を奥まで完全に押し込みます。

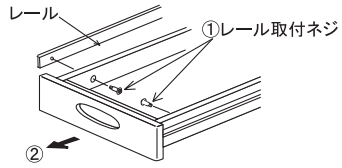


(2)単式スチールレール

■抜きかた

①引出の手前内側にあるレール取付ネジ（左右）を、プラスドライバーで外します。

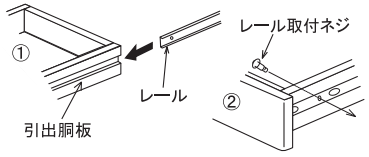
②引出をまっすぐに手前に引き抜きます。



■入れ方

①引出胴板の溝に合わせてレールを差し込みます。

②引出の手前胴板のレール取付用孔にレールのネジ位置を合わせ、内側より取付ネジで左右締め付けます。



くろがね 学習机保証書

品　番			
お客様	お名前 ご住所〒　　ー 電話番号（　　）　　ー		
お買上日	年　　月　　日		
保証期間	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色 クロスの摩耗	1年
	機構部・可動部	引出、スライド機構、昇降機構の故障	2年
	構造体	強度・構造体に関わる破損	3年
販売店名・住所・電話番号			

※くろがね学習机をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品はくろがね学習机ご愛用の皆様に安心してご使用いただくために厳密なる品質管理及び検査を経てお届け致しております。
お客様の正常な使用状態で万一故障した場合には本保証書の下側に記載した保証規定により修理致します。

株式会社 くろがね工作所
SOHO営業本部
〒572-0025
大阪府寝屋川市石津元町10-12
TEL (072)828-1011(代)

（保証規定）

1. 保証期間内（お買い上げの日より3年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理致します。修理はお買い上げの販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
2. 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。
   イ. お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障
   ロ. 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障
   ハ. 消耗部品の消耗又はそれによる故障
   ニ. 火災・塩害・異常電圧・地震・雷・風水害・その他天災地変等による故障
   ホ. お買い求めの販売店もしくは当社以外での修理改造等による故障
   ヘ. 離島又は離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
   ト. 追加部品（鍵・棚板・フック・引き手等）又は、お客様破損による追加部材等のご要望は有償となります。
   チ. 保証書の提示がない場合
3. 運賃等の諸費用はお客様にご負担していただく場合があります。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
6. ご使用前に、取扱説明書をご一読ください。
7. 補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。

ご注意　保証書の所定事項の記入がない場合は、本書と共にお買い求め先の領収書を保存してください。

お客様窓口

● この製品についてのご意見・ご質問は下記へお申しつけください。

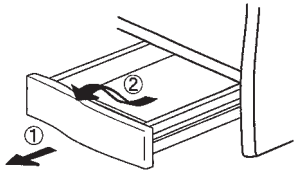
株式会社 くろがね工作所　SOHO営業本部・商品部
〒572-0025　大阪府寝屋川市石津元町10-12
TEL (072)828-1011(代)

※住所、電話番号等は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

(3)樹脂レール(上棚小引出)

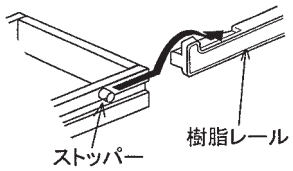
■抜きかた

①ストッパーが当たるまで引き出します。
②引出の手前を軽く持ち上げて引き抜きます。



■入れ方

引出のストッパーをレールのストッパーの奥にのせ、引出を差し込みます。



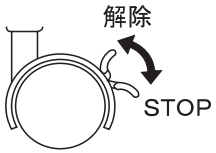
[2]天アップキャビネット

☆操作方法は「組立説明書」をお読みください。

禁止	キャビネット天板には耐荷重を超える物をのせない。耐荷重等分布50Kgまで。(ケガ・破損の原因)	禁止	天板を上下させる時は、天板上に物を絶対にのせない。(ケガ・破損の原因)
禁止	天板や引出の上に乗ったり、座ったりしない。(ケガ・破損の原因)		キャビネットを本体に収納する時又は、移動させる時は必ず天板を一番下まで下げてから行う。(ケガ・破損の原因)

[3]キャスターストッパー

●キャビネットを定位置で使用される場合は、ストッパーをかけて使用してください。
移動させる場合は、必ずストッパーを解除してから移動させてください。



[ストッパーの操作]

⚠注意

移動キャビネットのストッパーをかけたまま、無理に移動させない。
(床面に傷を付ける原因)

ストッパー確認

[4]錠前

[錠前の操作]

●鍵を差し込んで右にまわすと閉まります。
●鍵を差し込んで左にまわすと開きます。

⚠注意

鍵は共通のため盗難防止の保証はできません

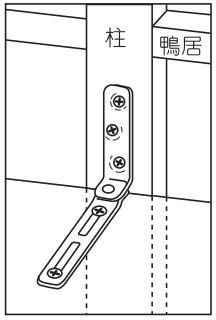
[5]転倒防止金具の取り付けかた(※転倒防止金具はハイタイプについています)

①金具の片側を書棚(上棚)の背板上面に取り付けてください。
②金具のもう一方を柱・鴨居などしっかりとした木部に付属の木ネジでとめてください。

⚠注意

金具を書棚に取り付ける際は、下穴をあけてから付属の木ネジで固定してください。
(下孔をあけないと破損の原因)

下穴をあける



[6]照明器具

☆照明器具の取扱は、灯具セットに入っています。別紙「取扱説明書」をお読みください。

[7]コンセント

☆コンセントの取扱は、灯具セットに入っています。別紙「取扱説明書」をお読みください。

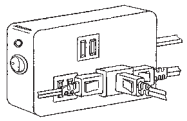
⚠警告

コンセントに容量以上の電気製品を接続しない。
(使用合計1400Wまで)

禁止

たこ足配線はしない。
(ブレーカー作動の原因)

禁止



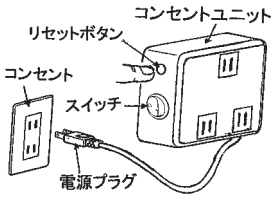
■ブレーカーについて

ブレーカーは容量以上の電流が流れると電流を遮断する安全装置です。
ブレーカーが作動しますとリセットボタンが突出します。

[ブレーカーの操作]

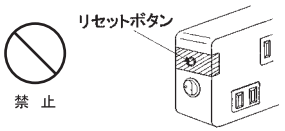
ブレーカーが作動した時は、電源プラグをコンセントから抜きます。

●一分以上時間をおいて、リセットボタンを押し込みます。再び電源プラグをコンセントにさしこみますと、元の通電状態に復帰します。



⚠警告

リセットボタンにテープを貼り付ける等、押し込まれたままでご使用はしない。



[8]こんな時は

修理を依頼される前に、次の点検をしてください。

こんな時は	調べる所	処置
引出の開閉が固い。	机が水平な床面に据え付けてありますか。	水平な床面に据え付けてください。
	レール取り付けネジが外れていませんか。	レール取り付けネジを締め付けてください。
	レールが途中で止まっていませんか。	引出を一度最後まで引き出し、再度奥まで押し込んでください。
移動キャビネットが動きにくい。	キャスターのストッパーが解除されていますか。	キャスターのストッパーを解除してください。
照明器具が点灯しない	電源プラグがコンセントの照明器具専用コンセントまたは家庭用コンセントに接続を確かめる。	電源プラグを確実に接続します。
	コンセントのブレーカーが作動していませんか。	コンセントのリセットボタンを押込み通電状態にしてください。
	電源スイッチが切「○」になっていませんか。	コンセントの電源スイッチを「ー」にしてください。
	照明器具スイッチが切「○」になっていませんか。	照明器具の電源スイッチを「ー」にしてください。
煙が出たり、変なにおいがするなど異常が生じたとき。	すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、異常事態がおさまった事を確認する。	お買上の販売店に修理をご依頼ください。

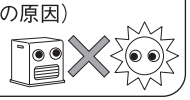
安全上のご注意【据え付けるとき】

⚠ 警告 禁止

机・書棚を設置する時は、机・書棚の下に電源コードを挟まない。
（火災の原因）

⚠ 注意 禁止

屋外や直射日光のあたる所、冷暖房器具の近くに置かない
（火災・変形・変色・変質の原因）



⚠ 注意 水平な床面に置く

水平な面に置く。
（引出の開閉がしにくくなったり、歪みの原因）

⚠ 注意 禁止

湿気の多い場所には設置しない。
（カビ発生の原因）

⚠ 注意

書棚は壁や柱に沿わせて設置し、転倒防止金具でしっかりした材質の場所に固定する。
（転倒によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意

組立ネジ・連結金具は確実に、しっかりと固定する。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意

組立作業や机を移動する時は、2人以上で行う。
（1人作業はケガ・腰痛・破損の原因）

⚠ 注意

製品を移動する時は、机の上、書棚に物がない状態にし、灯具・コンセントは取り外す。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意

製品を移動する時は、引きずらないで持ち上げて移動させる。
（床にキズをつけたり破損の原因）

⚠ 注意 禁止

テレビ・ラジオ・電話機などの近くに置かない。
（雑音の原因）

⚠ 注意 禁止

灯具は不安定な場所（かかりしろが少ない・丸棒・横向き取り付けなど）や弱い場所、燃えやすい物（寝具・カーテン・洗濯物など）の近くに設置しない。
（器具の転倒・落下による火災・ケガの原因）

⚠ 注意 禁止

電源コードをステープルや釘などで固定しない。
（感電やショートによる発火の原因）

安全上のご注意【使用するとき】

⚠ 警告 禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。たこ足配線しない。
（火災の原因）

⚠ 警告 ほこりは、乾いた布等で拭き取る事

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にホコリを付着させない。
（火災の原因）

⚠ 警告 禁止

コードの加工及び無理な引っ張り・ねじり・曲げ・束ねなどのコードを破損させる行為はしない。
（発熱や損傷の原因）

⚠ 警告 禁止

水気や湿気の多い場所では使用しない。水場での使用禁止。
（火災・感電・漏電の原因）

⚠ 注意 禁止

光源（LED）を直視しないでください。

⚠ 注意 禁止

傷んだコードや電源プラグ。緩んだコンセントは使用しない。
（コードが傷み、火災や感電の原因）

⚠ 注意 禁止

コードの上に重いものをのせたり、挟みこんだりしない。
（感電・火災の原因）

⚠ 注意 禁止

AC100V以外で使わない。
（感電・火災の原因）

⚠ 注意

プラグはAC100Vのコンセントに確実にさしこむ。
（感電・火災の原因）

⚠ 注意 禁止

コンセントに容量以上の電気製品を接続しない。合計1400Wまで。
（ブレーカー作動の原因）

⚠ 注意 電源プラグを持つ

電源プラグをコンセントから抜き差しする時は、必ず電源プラグを持つ。
（コード破損による感電・火災の原因）

⚠ 注意 電源プラグをコンセントから抜く

長期間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
（絶縁劣化による感電・火災の原因）

⚠ 注意 禁止

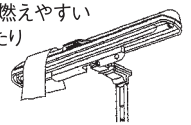
コンセントにプラグ以外のものを差し込まない。
（感電・故障の原因）

⚠ 注意 禁止

電気器具に水をこぼしたり濡れた手で触れない。
（感電の原因）

⚠ 注意 禁止

照明器具に布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。
（火災の原因）



⚠ 注意　禁止

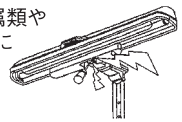
電気器具の改造や分解は絶対にしない。
（感電・火災・焼損の原因）

⚠ 注意　禁止

照明器具を動かす時、無理な力を加えない。
（破損によるケガの原因）

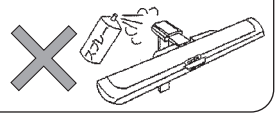
⚠ 注意　禁止

照明器具の隙間に金属類や燃えやすい異物を絶対に差し込まない。
（火災・感電の原因）



⚠ 注意　禁止

灯具に可燃性スプレーなどかけない。
（火災の原因）



⚠ 注意

電気器具から煙りが出たり、異臭がするなど異常が生じた時はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、異常がおさまったことを確認して、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。（感電・火災の原因）

⚠ 注意　換気する

ホルマリン臭のする時は充分に換気を行う。
※木材の接着材にはホルムアルデヒドが含まれています。
（ホルマリン臭がきついと目が痛くなったり、肌の弱い人はアレルギー症状をおこす原因）

⚠ 注意　禁止

商品に貼ってある警告表示ラベルまたは使用説明ラベルは絶対に剥がさない。
（誤った使いかたによるケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

可動部の隙間に手を入れない。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

組立ネジが緩んだまま使用しない。
※年2回を目安に点検し、組立ネジを締め直してください。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

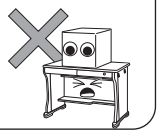
乱暴な取り扱いや、用途以外での使用はしない。
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

机や移動キャビネットの上に乗ったり、座ったりしない。
（転倒・ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

天板の上に耐荷重を超えるものを載せない。
※耐荷重　100kgまで
（ケガ・破損の原因）



⚠ 注意　禁止

引出の中に耐荷重を超えるものを入れない。
※耐荷重　下段引出　等分布10kgまで
　　その他引出　等分布　5kgまで
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

棚板の上に耐荷重を超えるものをのせない。
※耐荷重　自在棚　15kg
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

フックに耐荷重を超えるものをのせない。
※耐荷重　10kg
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

キャビネット天板の上に耐荷重を超えるものをのせない。
※耐荷重　等分布　50kg
（ケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

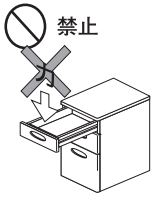
キャビネット天板の端に力を加えない。
（転倒によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

キャビネットの複数の引出を同時に引き出さない。
（転倒によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意　禁止

引出を引き出した状態で上から力を加えない。
（転倒によるケガ・破損の原因）



⚠ 注意　禁止

引出は強く引き出さない。
（引出ストッパー破損・引出落下によるケガ・破損の原因）

⚠ 注意

小さな部品の取り扱いに注意する。
（小さなお子様が飲み込む危険）

⚠ 注意　禁止

シール・セロハンテープなどを貼り付けない。
（表面はがれの原因）

⚠ 注意　禁止

加熱したやかんなど熱いものを直接製品の上に置かない。
（変色・変形の原因）

⚠ 注意　禁止

製品の上で直接硬いボールペンなどを使用しない。
（キズの原因）

安全上のご注意【お手入れするとき】

⚠ 注意

お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液に柔らかい布をしたし、よく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意　電源プラグをコンセントから抜く

照明器具・コンセントを清掃する時は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
（感電の原因）

⚠ 注意　禁止

照明器具は点灯中や消灯直後の電源、またはその周辺を触らない。
（熱によるやけどの原因）

⚠ 注意　禁止

照明器具・コンセントのお手入れの際は、水洗いはしない。
（火災・感電の原因）

⚠ 注意　禁止

殺虫剤を吹き付けたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしない。
（火災・感電の原因）

安全上のご注意【廃棄するとき】

⚠ 警告

廃棄物処理のため使用者側での解体及び加熱処理による消却は危険が伴います。
塩化ビニルや樹脂製品を燃やすと有毒ガスが発生する恐れがあります。
廃棄処分は、許可を受けた産業廃棄物業者か、自治体が実施している廃品回収（粗大ゴミ）などを利用する。